平成 24 年 7 月 1 日
第 62 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 黒瀬和美
電話 972・5819

こんな機械、初めて見たよ

上郷小学校２年生が田植え見学に八方原にやってきました。



メモを取りながら一生懸命に勉強しました

6月13日、上郷小学校2年生が八方原に水田と田植えの見学にやってきました。小学校では地域の中で学ぶ機会を設けています。

当日は給食センターの見学を終えて当地区にやってきました。日差しの強い日でしたので、勉強の前に水筒を出して一休み。

稲の育て方を教えてもらった後、田植え機の稼働している水田に移動しました。田植え機の忙しそうな動きに驚いている様子でした。

農業法人が導入した新しい機械「管理機」も登場しました。左右に腕を伸ばすと15メートルにもなるこの機械、鳥が羽根を広げたような格好にみんなびっくり。「スッゲェー」「かっこいい」と歓声が上がっていました。

今回は代掻きもお見せすることができました。最新のウィング式ハローは移動中は従来通りですが、作業の際はロータリーの幅が倍になるという新型機械です。ロボットのような動きで、作業の準備に入ると、みんなの視線が集中します。

児童からお礼の手紙が届きました。いろいろな機械にビックリしたことや、乗ってみたいという言葉が並んでいました。良い経験になったようです。

この夏もきれいな花で

農地の環境美化に貢献するための花壇が「景観形成花壇」です。昨年は山口国体に向けて全県的な取り組みが行われました。今年も同様な取り組みを行います。

6月24日、夏の花に植換えを行いました。サルビアを中心に、4種類の夏の花を植えました。

一部は全国植樹祭で使われた花のポットを分けていただき、植換えました。

夏から秋にかけて、しっかり育てていきます。



これから暑い時期にしっかりお世話をしないと

この通信は http://www.harataco.org/sigeki/ で読むことができます

見えるか麦作の将来性


田植えを控えて急ピッチで進めれた麦の収穫

昨年来世界的に小麦の値段が上がっています。ところが為替市場での円が高いままになり、輸入小麦の政府からの売り渡し価格が15％引き下げら1トン48,780円になったというニュースも伝わってきました。

米国の穀物市場では直近で1トン22,000円程度です。もっとも為替相場の関係がありますから一概に言えませんが、国際的な値段とは差があるものですね。八方原産の小麦はどうだったのでしょうか。関係者によると収量はまずまずだとしたうえで、「補助金がないとね」とのことでした。



児童と見守り隊が一緒の席でパチリ！

見守り隊と児童の交流会が行われました。先月13日八方原公民館で地区老人クラブが主体となった「見守り隊」のメンバーが集まり、児童を招いて顔合わせを行いました。

下校時の安全確保が目的ですが、日頃顔を合わせることの少ない世代同士が下校時の挨拶などでふれあいの機会を持つことも、この活動の目指すところです。

上郷小学校への通うのは、当地区と森下地区の児童がいます。そのため、お互いの名前と顔が一致しないことも少なからずあります。こうした機会がお互いを引き寄せあう良い機会になったのではないでしょうか。

見守り隊のメンバーの方は本当にご苦労様ですが、地域の宝物を大切に守って上げてください。


この株数を植えるとなると機械は大きくなる

八方原の農地にはいくらの苗が植えられた

小学生はいろいろなことに疑問を持ちます。今回田植え見学に来た児童の一人は「この田んぼに何本の苗が植えられますか。」と聞いてきました。

考えてみたことも無いような気がしましたが、試算をしてみましょう。一カ所に一本の苗とはなりませんから、基準を一株とします。平均的な30アールの水田の短辺30メートルには30㎝間隔で100本、長辺100メートルには20㎝間隔で500本とします。すると50,000株程度かなという予測ができます。

この数字で全体を推し量ると約500万株ということになります。凄い量になるものですね。

目指せ今年も「いもキング」

市子ども会連合会小郡支部では、毎年サツマイモを地区で育てる活動を行っています。本年もサツマイモの苗が用意されました。

6月10日、八方原子ども会も佐々木さんの畑をお借りして、サツマイモの植え付けを行いました。毎年大きいお芋ができますが、今年はどうでしょう。頑張れ！子ども会。


サツマイモの苗を植える子ども会のメンバー